

林業福島

No. 564

題字 福島県知事 佐藤雄平



8

2011

かんしゅう ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ ふきのカップ



東日本大震災の 復旧・復興へ向けて

福島森林管理署
署長 中山 浩次

はじめに、この度の東日本大震災によってお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様にご心よりお見舞いを申しあげます。

福島県内の国有林面積は県全体の森林面積の四割に相当する四一万畝であり、四森林管理署と二支署により管理経営を行っています。今般の地震と津波により国有林も特に浜通りの海岸林等が大きな被害を受けました。これらの被災森林につきましては、福島県や関係部局とも連携を図りつつ復旧に向け早急に取り組んでいくこととしています。

県内の森林管理（支署）では、被災直後から、近隣避難所への食料等の生活支援物資の提供や運搬等地元自治体への支援をさせていただきました。また、瓦礫の一時置場や仮設住宅用地に活用できる国有林の提供（無償貸付）について、県・市町村の災害対策本部に情報を提供し活用いただくとともに、仮設住宅用の木材として国有林材の供給に努めたところです。今後とも地元地域の要請に迅速に対応できるよう取り組んでいきます。

また、被災後、県内の林業関係業界・団体の皆様から、被災地域の林業従事者の雇用を守るため、国有林の事業量の確保及び早期発注について強い要請がなされました。国有林としましては、これらの要請等も踏まえ、被災した林道等の補修を早急に行いつつ、鋭意事業発注を行っているところです。なお、造林・素材生産事業の発注に当たっては、地域の雇用確保に資する観点から、福島県においては原則総合評価で入札を実施することとし、その際に県内事業体に大幅な加点を行うなどの改正を行いました。

本年は、平成二十二年一二月に公表された「森林・林業再生プラン」の実施元年でもあり、この着実な実行が復興を支える重要な取組にも繋がるものと考えます。福島県内の国有林においては、森林施業の効率化と低コスト化に向けた取組として、本年二月に福島県と締結した「豊かな森林づくりに関する覚書」に基づき、民有林と国有林が一体となった森林共同施業団地の設定の推進等を図るほか、コンテナ苗木を用いた実証的な植栽事業を実施し、作業工程や成長量等のデータを収集するなど低コスト造林の確立へ向けた取組を推進します。また、森林資源の活用に向けた取組として、間伐等森林整備において発生する根株等の林地残材について、「システム販売」による大口需要者への安定供給等を行うなど、木質バイオマスの需要開発にも積極的に取り組めます。

国有林としましては、今後とも民有林と密接な連携を図りつつ、地域の森林・林業・木材産業の復興・発展に向け最大限の努力を尽くしてまいります。

《も く じ》

とびら	
東日本大震災の復旧・復興へ向けて	
福島森林管理署 署長 中山 浩次	1
民有林における環境放射線モニタリング	
調査結果について	2
日本型フォレスター研修始まる！	3～4
福島県農林漁業者総決起大会開かれる	5
木の施設	6

森林文化シリーズ	
裏磐梯 木々との語らい	7
普及指導員通信	8
木材市況・ふくしま東西南北	9
木連だより	10
福島水源林整備事業所だより	11
写真コンクール PR 他	12
はなしのひろば	13

民有林における環境放射線モニタリング調査結果について ● 県森林計画課

1 はじめに

東京電力福島第一原子力発電所の事故により、各方面で放射能の影響が心配されています。森林林業の分野においても、下刈りや間伐などの作業期さらには子どもたちの野外活動が活発になる夏休みを前にして県民の皆さんの安全安心を確保するため、警戒区域を除く森林内の空間線量率を測定しました。

2 調査概要

- ① 調査年月日 平成二十三年六月二十七日(月)～七月七日(木)
- ② 調査箇所数 二九九箇所(八〇キモ圏内は四〇キモメツシユ、八〇キモ圏外は一〇キモメツシユ)
- ③ 結果概要
 - ◆ 森林内と近くの路上で測定した結果、ほぼ同様の値であり大きな差がない箇所がほとんどでした。
 - ◆ 八〇キモ圏外の全て及び八〇キモ圏内の約七割が、一・〇マイクログシーベルト/時未満でした。
 - ◆ 三・八マイクログシーベルト/時(*)を超える空間線量率が測定されたのは、計画的避難区域内及び特定避難勧奨地点、またはその

3 調査後の対応

- ① 調査結果に基づき県民の皆様へ呼びかけている留意点
 - ◆ 計画的避難区域以外であっても三・八マイクログシーベルト/時を超える区域については、文科科学省の暫定的考え方に準じて取り扱うことが望ましいと考えることから、一般の方は不必要に森林内に立ち入らないようお願いいたします。なお、森林施業については、ただちに作業を中止しなければならぬというものではありませんが、作業を行う際は、「①肌の露出を避ける②マスクを着用する③雨天時の作業を避ける④作業後には手洗いとうがいをする。」に留意してください(*)。

指定が検討されている地点付近の森林でした。それ以外で、三・八マイクログシーベルト/時を超えた森林はありませんでした。
*文科省が「福島県内の学校の校舎・校庭等の利用判断における暫定的な考え方について(平成二十三年四月一九日付二三文科第一三四号)」で示した利用制限を行う目安(以下、「暫定的考え方」)

*林野庁「計画的避難区域及び緊急時避難準備区域等の森林内等における作業に係るご質問と回答について(平成二十三年六月三〇日プレスリリース)」による。

② 再調査の実施

計画的避難区域以外で比較的空間線量率が高い三・四マイクログシーベルト/時(三・八マイクログシーベルト/時の一〇割安全側に余裕をみたまもの)以上の測定値が観測された箇所については、確認のため再調査を実施しました。その結果、三・八マイクログシーベルト/時を超える区域について、より詳細に把握することができました。

4 おわりに

この調査の詳細については県のホームページで公表していますのでぜひ御覧下さい。
「東日本大震災関連情報」→「災害関連情報」→「放射線関連情報」
↓「環境放射線測定結果・検査結果関連情報」↓「福島県環境放射線モニタリング再調査(民有林)の結果について」他
今後も原子力災害に対して適宜適切に対応してまいります考えでござ

○再調査結果(林内で3.8μSv/時を超える地点)

調査箇所	空間線量率(μSv/時)		
	地上10cm	地上50cm	地上1m
福島市大波	3.86	3.14	2.88
伊達市(旧保原町)柱田	4.72	3.65	3.27
伊達市(旧霊山町)下小国	4.08	3.06	2.63
	3.76	3.61	3.99
伊達市(旧霊山町)石田	3.83	3.04	2.79
	4.83	3.87	3.61
	4.55	4.34	4.24
	4.46	3.72	3.36
伊達市(旧月舘町)月舘	4.54	3.97	3.89
伊達市(旧月舘町)布川	3.95	3.94	4.05
	4.37	3.96	3.96
南相馬市(旧鹿島町)上栃窪	5.24	4.36	4.27



現地調査の状況

いますので、県民の皆様のご御理解と御協力をお願いいたします。
最後に紙面をお借りして、今回の緊急な調査の実施に当たり、貴重な測定機器を御提供いただいた福島県森林組合連合会並びに各森林組合の皆様にご心からお礼申し上げます。

日本型フォレスター研修始まる！

県林業振興課 人材育成担当

フォレスターとは、利用期を迎え

た人工林資源を活用した持続的な林業経営を進めるため、長期的視点に立って目標を持って森づくりを計画し、適確に指導・評価できる技術者のことであり、具体的には、市町村森林整備計画の策定支援・実行確保や森林経営計画の認定支援、プランナーへの施業・作業システムのアドバイス、市町村への路網整備の働きかけなど、地域林業について総合的に指導・助言を行う人材である。

※フォレスターの役割は表-1のとおり。

育成にあたって国は、全国一地域において試行的なフォレスター活動を採択し、その業務量や成果、活動経費、林業関係者等との連携体制を検証し、次年度以降のフォレスター業務に反映させるとともに、林業普及指導員の技術のレベルアップを図りつつ弱点分野を補強するため研修や市町村森林整備計画、森林経営計画の作成等に必要な知識を身につけるための准フォレスター研修の実施、民間事業者への出向による現地研修等を行う。

I 日本型フォレスター活動の試行

① 試行的なフォレスター活動の実

施

市町村森林整備計画の策定を支援するため、森林の現況や地域の要請を把握するとともに、ゾーニングの方法や林業専用道の図示化、森林所有者等との合意形成の進め方について市町村職員等を支援する。

また、林業事業者が行う造林や伐採等に対する現地での技術的な指導を行う。

② 専門家による指導等

試行的なフォレスター活動を効果的に行うため、フォレスター活動を実施する地域に専門家を招いて指導を受けるとともに、都道府県の職員等をフォレスターの活動に係る先進的な取り組みを行っている地域に派遣し調査を行う。

③ 試行的なフォレスター活動状況の記録等

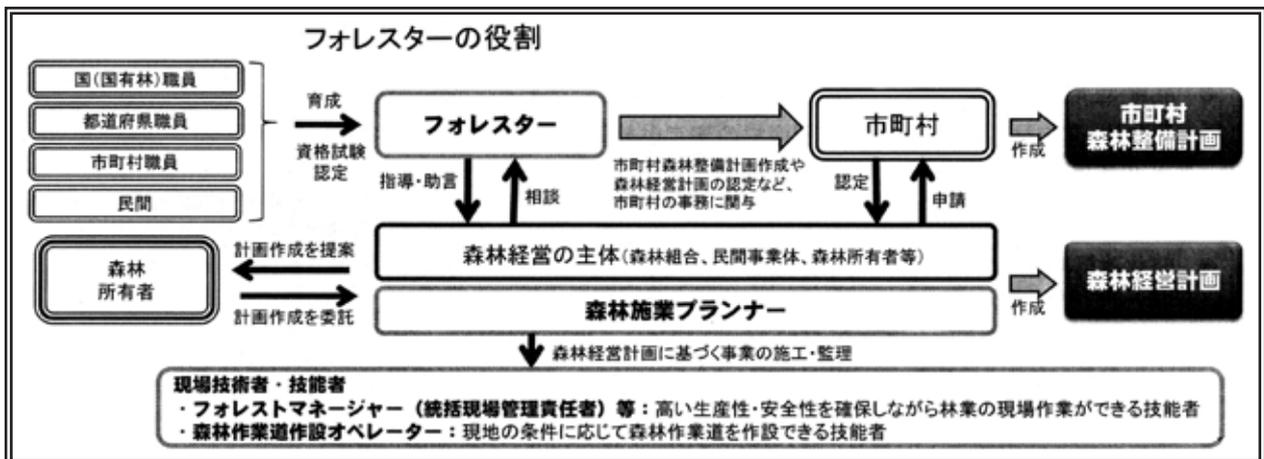
フォレスターの活動状況等を記録し、実践活動における業務量の把握や育成研修プログラムの改善等に取組む。

II 日本型フォレスター育成支援

① 准フォレスター研修

市町村森林整備計画等の策定支援に必要な森林施業の集約化やゾーニング、路網と作業システム、木材流

表-1



通・販売等について研修を行う。

④ 研究は全国七ブロックにおいて、各ブロックに二週間（二週間×二回）行われ、福島県は関東ブロックの利根沼田森林管理署の管内で開催された研修会に参加した。

※研修プログラムは表-2のとおり。

② 通信研修の受講

フォレスター業務を実施する上で、の弱点分野の補強を目的に特定の課題についてレポート等を作成し提出する。

③ 集合研修（集団討議研修）

試行的なフォレスター活動を実施する上での課題や地域における課題等について各都道府県の准フォレスター研修受講者等が一堂に会し討議

を行う。

④ 民間林業事業体での実践研修

先駆的な活動を行っている林業事業体での実践研修（森林の評価、作業路計画・作設、素材生産等）を二週間程度行う。

⑤ 研修課題実行

地域林業を振興する上での課題を設定し、解決のための実践活動やその方法等をまとめる。

以上のように、森林・林業に関する専門知識・技術等に一定の資質を有したフォレスターを育成することを目的に育成研修事業が実施され、平成二五年度から予定されるフォレスターの認定に向け準備が進められる。

最後に、フォレスターは、中立の立場

から、施業提案書や森林経営計画及びその実行が技術合理性、経済合理性に照らし、林業事業体等にも森林所有者にも良いものとなるよう指導・助言を行うなど地域林業の振興を図るうえで、これからの活動への期待は大きい。



現地実習



現地実習



グループ演習



グループ発表

表-2

准フォレスター研修プログラム	講義／演習
森林・林業再生プラン、准フォレスターの役割	講義
市町村森林整備計画の概要	講義
森林施業の集約化	講義
ゾーニングと森林施業の考え方	講義
路網と作業システム	講義
森林施業の実行監理、現地踏査等	演習
森林施業検討会	実習
市町村森林整備計画の実践	演習
森林整備企画、現地踏査等	演習
市町村森林整備計画（案）によるワークショップ	演習
森林施業における労働安全	講義
木材流通・販売	講義
森林経営計画の概要	講義
森林経営計画の作成	演習

氣勢を上げる参加者たち

2,500人が参加した総決起大会



注意表明する田村森林組合 管野孝さん



東電本社前でのデモ行進

歳章 J A 全中会長からのあいさつがあり、連帯のあいさつとして福島県生活共同組合連合会の熊谷純一会長があいさつした。また、参加した県選出国会議員を代表して民主党の渡部恒三衆議院議員、自民党の吉野正芳衆議院議員、みんなの党の小熊慎司参議院議員、新党改革の荒

去る、八月一二日に J A グループ福島、福島県森林組合連合会、福島県漁業協同組合連合会が主催した「福島県農林漁業者総決起大会」が東京の日比谷野外音楽堂で開かれ、県内だけでなく避難先からも含めて農林漁業者二、五〇〇名（森林組合からも七七名）が参加した。県内からの参加者は朝早くに福島県の各地をバス五〇台で出発し、二時から開かれた大会に参加するとともに、大会終了後は日比谷野外音楽堂から東京電力(株)本社前を通り、東京駅近くの鍛冶橋まで約二キロメートルをデモ行進した。

向かい、必ずや本県の農林水産業の復興を遂げ、福島ブランドの信頼を回復することを強く決意する」とあいさつした。引き続き、農林漁業者を代表して J A グループ福島肉牛振興会の鈴木廣直会長、J A 福島県青年連盟遠藤友彦委員長、田村森林組合の管野孝加工課長、相馬双葉漁業協同組合の叶谷守久副組合長が決意表明を行った。林業者を代表して決意表明を行った菅野課長は「福島の子供たちの未来のために森づくりをして福島を自然を守ってきた。その森が放射能汚染により破壊されようとしている。原発事故以来森の中に立ち入ることができず、仕事ができない日々が続いている。国の責任として最大限の努力を「言葉」より「行動」で示してほしい。」と訴えた。

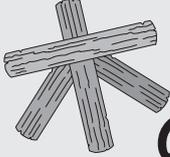
井広幸参議院議員が決意表明を行った。最後に、原発事故の一刻も早い収束と損害賠償金を早急に全額支払うこと。被害の拡大防止と食の安全に対する不安を払拭するため、国の責務として検査体制の強化と万全な対策を講じること。放射性物質の除染対策の道筋を早急に明確にし、一刻も早く大規模かつ効果的な除染事業に着手すること。などを強く要望するとともに、本県の農林漁業者は、これまでに多くの国民からいただいた数々の支援を力に、この未曾有の難局にも決して希望を失わず、県内の農林漁業者の協同の取組みにより、本県農林漁業を必ずや復興させ、誇りと希望を持って、次世代に引き継ぐため総力を挙げて取組むとする決意を満場一意で採択したあと、参加者全員でがんばろう三唱をして閉会した。

デモ行進では、参加者が一〇グループに分かれて大会会場を出発し、「福島県農林漁業を守れ！」「福島は決して負けないぞ！」等シユプレヒコールを行いながら銀座を行進した。特に東京電力(株)本社前では、「東電と国は原発事故を一刻も早く収束しろ！」「東電と国は全ての損害を速やかに賠償しろ！」「福島は豊かな大地と海を返せ！」など強く抗議した。



人々が集う大広間

福島市南部の鳥谷野地区、四号国道沿いには、大型商業施設が立ち並んで賑わっている。その国道からちよつと奥まったところに鹿島神社がある。小さくても参道のある由緒ある神社だ。神社の裏側、社殿を背後から抱き込むような形で、鳥谷野集会所が建っている。



の施設

No.2

鳥谷野集会所



玄関から続く木の空間

大きな瓦屋根に白壁のすっきりした和風平屋建てで、県森林整備加速化・林業再生基金事業により平成二三年三月に竣工した。述べ床面積は二三四・七三平方メートル、木材使用量は五八・九五立方メートルとなっている。材料はスギ、ヒノキ、マツで、すべて県産材を使用している。主に阿武隈流域の材が使用されているが、これだけまとまった量を供給するのに大変苦労したそう。集会所内部は、会議室、和室、台所、トイレなどで、それぞれの内装はもちろん、収納庫内部にもふんだんに木材が使われている。特に玄関を入るとすぐのホール兼廊下は、床から天井まで、木の香いっぱい包まれた空間となっている。



すべて県産材を使用



大屋根を支える木組み

天井はスギ、床はヒノキ、壁全面には、高温熱ロール加工して、グレードアップしたスギ板が横に貼られている。木目も材色も美しく、光沢もあり輝きに圧倒されるようだ。会議室は、ヒノキ床のステージが付いている七二帖の大広間。人々が集うのにふさわしい、ゆったりと明るいスペースだ。

【データ】 鳥谷野集会所	
所在地	福島市鳥谷野字宮畑8
構造	木造平屋建て(一部大断面集成材使用)瓦葺き
建築面積	243.83㎡
述べ床面積	234.73㎡
木材使用量	58.95㎡
使用樹種	スギ、ヒノキ、マツ
工期	平成22年11月26日～平成23年3月10日
事業費	39,480,000円
事業主体	福島市鳥谷野町会

天井板で見えなくなっているが、集成材の大きな梁を中心に、梁や桁ががちりと組まれて大きな屋根を支えている。さらに、五寸角のスギの柱が整然と並んでいる。腰板は高温熱ロール加工したスギ板が貼られていて、一枚ずつ違う材色が味わいのある独特の模様を作りだしている。ステージ下の羽目板も材色の違いで細かい細工がしてあるように見える。ステージ脇には、八畳の和室がある。黒檀の床柱の床の間がついている。打合せや準備などに使いがたがよさそう。待望の集会所は、地域の拠り所となつて、地域の行事等が活発化し、人々の絆がより深まっていかに違くない。

シリーズ

裏磐梯 木々との語り

財団法人福島県林業会館 評議員
森林インストラクター 五十嵐 保 雄



なっています。

・植林を行った遠藤重十郎(現夢)と林学博士中村弥六を思い出させアカマツ林

この林は厳冬期に見ると綺麗です。雪と湖の青それにアカマツの木肌が良く調和し、訪れる人に暖かさを感じさせます。陽がさすと「よく来たね」と語りかけてきます。

・中瀬沼の近くで整列するように生育するハンノキの林

植林でもこんなに秩序正しく植えられないだろうなと思うくらい高さも太さも同じです。少し背高のつぼですが、校庭に並んだ小学生の感じます。将来どんな森になるか楽しみです。

・流れ山に凜として存在感のあるミズナラ林

この林は元気が欲しいときに行くといい。ろくに土壌もない岩屑に葉を一杯に広げて雄々しく生育している。「何をしているんだ！上を向いて歩けー」さすが森の父といわれるだけのことはある。

・噴火の影響を受けない早稲沢のブナの巨木林

この森は実に静かです。春先エゾハルセミがうるさいが単調です。一人で分け入ると気味が悪いくらい静かで、後ろから誰かが追ってくるような感じがして何回も振り返ります。「暗くならないうちに帰れよ！」ここには間違いなく天狗がいる。

このほかにも銅沼(あかぬま)周辺の低木林があります。ここは噴火口に近い沈黙の林です。リョウブ、ウダイカンバ等の先駆植生ですが、みんな静かに黙っています。

こんな具合にここ裏磐梯の森林は、どこに行っても、いつ行っても歴史を感じさせ、思いを新たにすることができそうです。「森は生きている」を五感で体験できるところです。

また、私は裏磐梯に出かけると、必ず見る樹木があります。ヤマナラシ(山鳴し)です。ヤマギの仲間、この地域に特有の木というものはなく、北海道から九州まで生育しているとのこと。葉は幅広いの広円形、葉柄は長く、押しつぶされたような扁平で風を受けて揺れやすく、カラカラと鳴ることからこの名前がついたといわれています。毘沙門沼やレンゲ沼の周りに生育しており、風に揺られて、葉が表になったり、裏になったり、七夕飾りの短冊に良く似ていると思います。

この木はなぜ葉柄が長く、ひらひら流す手段だといえます。先日、誰もいない時に、ヤマナラシに聴いてみたら、「そうじゃないのよ！よく見てごらん、私は皆さんを応援して手を振っているのよ！葉音も耳をすませてよく聴いてごらん！」

ヤマナラシー夏の裏磐梯によく似合う木である。



湖畔林



森の父ーミズナラ



ヤマナラシの葉

裏磐梯パークボランティアを務めていることもあって、私は裏磐梯によく出かけては木々を見てまわります。檜原湖、小野川湖、秋元湖等の湖沼群も、なぜこんなに細長い形をしているのか、と最初は思ったものです。磐梯山の噴火(水蒸気爆発)により、河川がせき止められて形成されたと気づくまで少し時間がかかりました。

一八八〇年(野口英世が小学生の頃)、噴火により地形が一変し、四

七七人の方々が犠牲になりました。当時の惨状は現在の大震災の被災地と同様悲惨であったのだろうと思います。檜原湖の遊覧船を操る、ある中年の機関士は「うちの親父さんの家はこの辺だった」と濃い青色の湖面を指さします。いたるところに見られる岩屑の溜まった「流れ山」は私にとつては墓標にも見えてしまいます。

噴火から一二〇年余り。荒涼としていたであろう裏磐梯も、いまは四季折々に多彩な姿を見せる森林と

放射能に負けない林業の再生を目指して

■相双農林事務所

林業普及指導員 大久保 圭 二

【はじめに】

3月11日に発生した東日本大震災と原発事故から5ヵ月が過ぎましたが、相双地方では、あの日を境に生活、経済などすべてが大きく変わり、地震、津波、放射線、風評と4重災害に苦しめられています。

原発事故直後、南相馬市の街中は県外へ避難する車の混雑、その後は人影がなくなり、行き交う車は警察と自衛隊の車両のみで、町全体が静寂に包まれ異様な様相を呈し、テレビに映し出される原発の状況に一喜一憂しながら頻発する余震に精神的にも逼迫する毎日でした。

現在はようやく全市民の約6割が戻り、商店やスーパーなども一部が再オープンするなど町には活気が戻りつつありますが、震災前にはなかった放射性物質汚染が復興への重しとなっています。

【各種モニタリング調査と放射線除染】

国・県では安全な農産物を提供するため野菜やきのこ、山菜などの放射性物質の調査や道路・公共施設等での放射線量の調査を行っています。さらに森林内も全県で約300箇所での調査が行われ、結果が県HPなどで公開されたところです。

相双管内では警戒区域や計画的避難区域、緊急時避難準備区域、それ以外でもホットスポットや最近になって特定避難勧奨地点が指定されるなど、放射線が高い地域が今でも多く存在しています。何を実施するにしても放射線の影響が大きいのしかかり、森林内の作業には放射線量の調査が必要不可欠で県事業の委託予定箇所などでも測定を行っています。

林業再開のためには、放射線量はどこが高く、どこが低いかを明らかにして施業可能な区域が特定できれば、事業者も今後の事業対応を考えることができます。

そこで、農林中金が実施している森林再生基金（FRONT80）事業を活用し、200×200mメッシュで管内民有林を7,500地区で区切った汚染マップ等を作るため、普及指導員が支援のもとに相双地方の3森林組合が共同で公募申請しています。

今後、樹木のどの部分に放射性物質が多く付着しているかの調査や早期帰宅を実現するための人家周辺での森林の除染方法の検討などを大学や研究機関と連携して取り組み、最前線としての森林の放射性物質除染対策を見いだしていきたいと思っています。

【今後の普及指導の取り組み】

今後も各種モニタリングを実施し、きのこ等生産者への放射線物質対策の巡回指導はもとより、事業者への放射線に対する労働安全対策指導や木材への風評被害の打開策の検討、放射性物質が付着した木材や木質系瓦礫などをバイオマスとして利用しながら地域の復興につなげるなど放射能汚染には負けずに、大きく遅れをとった相双地方の森林・林業の再生に取り組んでいきたいと考えています。

がんばろう ふくしま！ 負けないぞ 相双！！



森林内での環境放射線モニタリング



場所によってはこんなに高い値(9.671 μ Sv/h)が

木材市況

素材の価格〈工場着価格〉(5月15日現在)

(単位: m³当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	10 (8~13)	0	(0~0)	-	10 (10~10)	0	10 (8~13)	0
		10~13		並	スギ	13 (12~14)	0	10 (8~11)	0	12 (12~12)	△1	12 (8~14)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	14 (14~14)	0	11 (10~11)	0	13 (13~13)	0	12 (10~14)	△1
				並	ヒノキ	24 (23~25)	1	(0~0)	-	18 (18~18)	0	22 (18~25)	0
		6.00	並	スギ	20 (17~23)	1	(0~0)	-	15 (14~16)	△1	18 (14~23)	0	
			並	ヒノキ	24 (24~24)	0	(0~0)	-	20 (15~25)	△6	21 (15~25)	△4	
	20~28	3.65	並	スギ	14 (14~14)	0	13 (12~13)	0	13 (12~14)	0	13 (12~14)	0	
		4.00	並	アカマツ	11 (9~13)	0	10 (10~10)	0	10 (9~10)	0	10 (9~13)	0	
		1.80	並		8 (6~10)	0	(0~0)	-	8 (8~8)	0	8 (6~10)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	23 (23~23)	0	(0~0)	-	25 (25~25)	0	24 (23~25)	0
並				米マツ	25 (23~28)	0	26 (26~26)	0	25 (25~25)	0	26 (23~28)	0	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	-	(0~0)	-	22 (22~22)	0	22 (22~22)	0	
			並	ベニマツ	27 (27~27)	0	0 (0~0)	-	23 (23~23)	0	25 (23~27)	0	
70~90		8~14	並	ラワン	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	
			並	アガチス	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	
パルプ用材	-	-	並	マツ	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	
			並	広葉樹	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	

四月の原木市場への入荷状況は、前月比五二割増(前年比二割減)の二七、四七四立方メートルとなっている。販売量については、前月比五七割増(前年比二割減)の二七、五三二立方メートルとなっている。震災の影響により一時停滞していた素材出入荷が、ほぼ前年五月までの価格については、保合である。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)	-	9 (8~9)	0
	13~14		並	カラマツ	9 (8~9)	*	8 (7~9)	0
	16以上		並	カラマツ	9 (9~10)	*	11 (10~11)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、*印は前月実績がなかったことを示す。
2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均的価格を示す。
3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。



さざり荘内部



薪焚き温水器4基

昨年九月、建て替え工事を着手した鮫川村民保養施設「さざり荘」は、東日本大震災の影響を受け予定より完成が遅れたものの、四月二十九日から営業を開始しました。旧施設は、昭和四七年のオープン以来、村民の憩いの場として親しまれてきましたが、老朽化により新たな施設の建設が熱望されていたものです。完成した建物は、鮫川村の里山景観を二つの大屋根で表現し木造平屋建てで、延べ床面積は七八〇平方メートル、一部には村内産スギ材を使用しています。設備には、「鮫川村バイオマスビレッジ構想」に基づき、村内の豊富な森林資源の有効活用を目指して、間伐材などを燃料とする「薪焚き温水器」を四基導入し、温泉の加温や給湯及び床暖房の熱源に利用することで化石燃料の消費を最小限に抑えています。村では、村内の木材を薪として買い上げることで、資源と経済が循環することに期待しているもので、鮫川



『薪焚き温水器』が本格稼働して!

県南農林事務所森林林業部
林業課 主任主査 原田 政尚

村版の「地産地焼」を実行していくことにしています。村内には、構想の拠点となる「鮫川村豊かな土づくりセンター」が今年度中に完成する計画で、施設内には薪を集積する「薪ステーション」も併設される予定です。

センター事業の柱は、村内の畜産農家からの家畜排泄物等により堆肥を製造して、村内の農家に販売し、農家から生産された農作物を鮫川村給食センターや農林産物直売施設「手・まめ・館」で消費・販売するというシステムです。また、センターの設備にはやはり「薪焚き温水器」や「薪ストーブ」を始め、太陽光パネルの設置や村内の各家庭から出される食用廃油からバイオディーゼル燃料を精製するプラント、雨水を貯留しセンター内トイレや洗い場用の水として活用するための雨水タンクの設置などが予定されており、構想の核となる施設としての役割が期待されています。

村では、薪割り体験と温泉入浴を組み合わせたグリーン・ツーリズムの企画も検討しているそうですので、皆様もぜひ「さざり荘」においでください。

【さざり荘所在地】

東白川郡鮫川村大字赤坂東野字 広畑一九九の二

【休館日】

毎週水曜日、
一二月三十一日、一月四日

【泉質】

アルカリ性単純温泉

【適応症】

神経痛、筋肉痛、関節痛、
うちみ、冷え症など

団体のページ

木連だより

平成22年度製材統計
—林業福島6月号の続き—



一、製材工場数及び従業者数

(一) 全国

製材工場数は六、五六九工場で前年に比べて二九六工場(四・三割)減少した。従業者数は、三万三、四七九人で前年に比べて、一、四九一人(四・三割)減少した。

また、一工場当たりの従業者数は五・一人で前年と同数であった。

(二) 福島県

製材工場数は二五二工場で前年に比べて二五工場(一〇・〇割)減少した。従業者数は一、二二八人で前年に比べて八二人(六・七割)増加した。

また、一工場当たりの事業者数は四・九人で、〇・二人(四・三割)増加した。(表一)

二、製材品出荷量

(一) 全国

製材品出荷量は九四二万五千立方

メートルで、前年に比べて二二万四千立方メートル(一・三割)増加した。

出荷量を用途別にみると、建築用材及び家具・建具用材の用途において、それぞれ二万九千立方メートル(〇・四割)、二万三千立方メートル(四・二割)減少したものの、木箱仕組板・こん包用材及び土木建築用材の用途において、それぞれ一〇万立方メートル(一〇・一割)、二万三千立方メートル(六・四割)増加した。

また、人工乾燥材出荷量は二五四万四千立方メートルで、前年に比べて二六万四千立方メートル(一・一六割)増加し、製材品の出荷量に占める人工乾燥材出荷量の割合は二七・〇割と前年に比べて二・五ポイント上回った。

(二) 福島県

製材品出荷量は三万四千立方メートルで前年に比べて二万立方メートル(六・一割)増加した。

出荷量を用途別にみると、それぞ

れ建築用材一〇千立方メートル(三・三割)、土木建設用材七千立方メートル(六三・六割)、木箱仕組板・こん包用材三千立方メートル(三三・一割)増加した。

また、人工乾燥材出荷量は、一三二万八千立方メートルで、前年に比べて二二万立方メートル(一八・〇割)増加した。(表一)

表一 製材工場数、製材用動力の出力数及び従業者数

出力階層	全国		福島県	
	工場数	構成比 %	工場数	構成比 %
計	6,569	100.0	251	100.0
工場数	7.5~22.5km未満	784	29	11.6
	22.5~37.5	1,333	47	18.7
	37.5~75.0	2,165	95	37.9
	75.0~150.0	1,196	49	19.5
	150.0~300.0	641	19	7.6
	300.0km以上	450	12	4.8
総出力数	704,380.2	—	22,435.3	—
1工場当たり出力数	107.2	—	89.4	—
従業者数	33,479	1) 5.1	1,228	1) 4.9

注：1) は、1工場当たりの従業者数である。

表二 用途別製材品出荷量

単位：千³m

区分	計	建築用材					土木建設用材	木箱仕組板・こん包用材	家具・建具用材	その他用材
		人工乾燥材	小計	板類	ひき割類	ひき角類				
全国	9,415	2,544	7,642	1,551	2,817	3,274	380	1,087	69	237
対前年比 (%)	101.3	111.6	99.6	103.8	97.2	99.9	106.4	110.1	95.8	116.2
構成比 (%)	100.0	27.0	81.2	16.5	29.9	34.8	4.0	11.5	0.7	2.5
福島県	348	138	312	44	160	108	18	16	0	2
対前年比 (%)	106.1	118.0	103.3	110.0	103.9	100.0	163.6	123.1	0.0	100.0
構成比 (%)	100.0	39.7	89.7	12.7	45.9	31.0	5.2	4.6	0.0	0.6

福島水源林整備事務所だより

製材所の現状と課題 国産材製材の国内最大級工場 「協和木材株式会社」について

(独) 森林総合研究所森林農地整備センター
福島水源林整備事務所

はじめに

我が国は国土の六七割を森林が占める森林大国ですが、木材の需要率は三〇割程度に留まっています。

これまで国産材の需要が伸びなかった理由としては、材価の低迷に伴う山林所有者の関心の低下や森林所有の規模が零細であること、素材生産から加工の各段階においても小規模で分散していることから生産性が低く需要者が求める品質の製品を安定的に供給する体制が確立されていなかったこと等にありま

1 協和木材株式会社の概要

【所在地】福島県東白川郡瑞町大字西河内 字鶴巻田一〇

【代表者】代表取締役 佐川 広典

【資本金】一億円

【従業員】一四四名

【事業内容】(那須工場、郡山営業所を含む) 山林伐採、植林、丸太販売、製材加工、製品販売

【生産能力】二六万立方メートル/年間(原木換算)

2 協和木材株式会社の取り組み

① 協和木材株式会社山林部の営業六名により伐採立木(原木)を確保する。

② 二〇〇以上の山林所有者を対象に営業活動を行う。

② 協和木材株式会社により組織化された素材生産者「協栄会」が受注状況等にに応じて伐採・搬出を請け負い原木を工場へ安定供給する。

◆「協栄会」は一人親方から高性能機械を使う班まで様々で、六〇名で二七班の構成となっている。

◆伐採・集積まで 一〇立方メートル/人日を目標とする。

◆年間作業規模 皆伐二〇〇〇〇(国有林、公有林が六〇〇〇七〇割) 間伐六〇〇〇〇(民有林が主体)

◆間伐は定性間伐で実施。

◆間伐の素材生産の対象は四〇年以上の林分。

◆皆伐の路網作設・伐採・集積までの費用・約三〇〇〇〇〇円/立方メートル。

◆間伐の路網作設・伐採・集積までの費用・約六〇〇〇〇円/立方メートル。

◆集積地から工場までのトラック運搬費・約一、五〇〇〇円/立方メートル。

③ 伐採跡地の植林 協栄会が皆伐した跡地について、山林所有者が植林を希望する場合は協栄会が造林事業を実施する。皆伐跡地の再造林を行った場合、立木の販売収入が山林所有者の手に残らないのが現状である。

④ 工場での素材検知 協和木材株式会社は素材の検

(参考) 規模別製材工場数

小規模工場 (2千㎡以下)	中規模工場 (2千㎡以上1万㎡未満)	大規模工場 (1万㎡以上)
4,521工場 (66%)	1,890工場 (27%)	454工場 (7%)

(資料) 農林水産省「平成21年木材統計」(注) 材積は、年間原木消費量である。

知を重視しており、検収機械は径級や曲りだけでなく、3D画像により矢高や製材歩留まりまで測定できるものとなっている。(仕分け状況)

また、会社として特に拘っているのが、正確で信頼される検知であり、工場に入荷された素材については、現地土場で検知した材も含め全て工場で検知・仕分けし、径級毎にカラーマーキングを行い木口の寸法を標示することにより、入荷者に直接確認してもらい信頼を得ている。(カラーマーキングによる識別)

⑤ 効率性を重視した製材工場

◆一五割の敷地に二割の工場建物。

◆平成二二年五月から木屑焚きボイラーを回し続けることで、二四時間の操業体制としている。

◆平成一八年から本社工場を塙材間工業団地に移転し、二四時間操業による騒音問題を回避している。

◆素材換算で六〇〇〇七〇〇立方メートル/日の製材を行う。(製材工場)

⑥ 乾燥による徹底した品質管理

◆材工夫する。

◆自社で発生したカンナ屑や端材を燃料とするボイラーを使用することにより脱化石燃料化を図る。

⑦ 需要者のニーズに対応した供給体制の確保

◆ハウスメーカー・人工乾燥材の大量供給を望む。

◆中小工務店：材色に優れた天然乾燥材を望む。

◆人工乾燥材九〇割・天然乾燥材一〇割となっている。

◆三五〇立方メートル/日の製品出荷、スギ九〇割・マツ一〇割となっている。

◆製品倉庫の面積は七、七二〇平方メートル、乾燥材を大量に保管し、注文が入ってから仕上げの引き直しを行うことで、迅速に大量の乾燥材を供給する体制が整っている。

⑧ 製品の出荷先

◆商社間屋(三九割) ハウスメーカー工務店(一九割)、プレカット工場、市売り、ホームセンター他

3 協和木材株式会社の現状

協和木材株式会社山林部の営業より原木を

確保し、組織化された素材生産者「協栄会」が伐採・搬出し、地元原木市場や森林組合、素材生産者と直送に関する協定を結んで原木の安定調達を実現している。

また、工場の大規模化や大量の乾燥材保管、高品質な製品の管理及び素材生産・素材直送・製材加工・製品販売までの全てに直接関わることで、コストダウンを図り、需要者のニーズに応えられる安定した製品販売を確立している。

このような取り組みにより、平成二二年度の国産材の原木消費量は約二七千立方メートルと国内最大級となり、地域材の需要が拡大して山林所有者への利潤も還元され、地域林業の活性化が図られた。さらに首都圏を中心として県内外へ多くの国産材を提供することで、川上から川下まで地域産業に大きく貢献している。

4 今後の課題

協和木材株式会社では、原木の確保及び地域材の利用拡大を図るため日々営業活動を行っているが、世代交代等もあって山林所有者の経営意欲が減少し自己山林の境界線も不明な場合が増えてきている。

また、共有地等については行方不明者が発生しているケースが多くなっており、計画的な伐採が出来なくなっていることから、今後、これらに対する法的な見直しが必要と思われる。

さらに、製材関係では、木材の有効利用をより一層高めるため、今後、集材材の生産を検討していくことが必要であると思われる。

おわりに

森林・林業再生プランでは、林業・林産業を再生し、木材の安定供給力の強化を図ることに、木材自給率を五〇割にまで高めようとしています。

協和木材株式会社の取り組みは、製材のみならず川上の林業の活性化にも大きく貢献しており、国産材の需要拡大に繋がるモデル的なシステムとなつていきます。

山林所有者の世代交代や不在村地主等の問題もあり、施業の進まない森林に対するセーフティネットの検討、及び集約化施策等による制度的な効率化が必要だと思われま

す。また、今後の林業経営は需要の高まりが想定される火力発電の燃料や、公共建築物等における木材利用促進による国産材の需要拡大を見据えた

取り組みが必要であると思われま

す。

第8回 ふくしま森林・林業 写真コンクール

応募締切 平成23年 (当日消印有効)
10月14日 金

作品募集

(社)福島県林業協会では、下記のとおり《ふくしま森林・林業写真コンクール》を開催しています。皆様のご応募をお待ちしています。

- テーマ** 下刈、間伐等の森林整備作業・木材の利用・特用林産物(炭焼き、きのこ栽培、漆等)・里山風景・森林レクリエーションなど森林・林業に関わりのあるもの。
- 応募資格** アマチュアに限ります。
- 作品サイズ** カラープリント 四ツ切・ワイド四ツ切(デジタルカメラ撮影も可)
- 審査員** 主催者、後援者の代表、専門家等によって審査します。
- 発表賞** 入賞者には平成23年10月下旬に直接通知します。表彰は「福島県林業祭」の林業コンクール等表彰式で行います。
- 最優秀賞(県知事賞)……………1点 賞状 賞金(3万円)
 - 優秀賞(林業協会長賞)……………3点 賞状 賞金(2万円)
 - 特別賞(林業会館理事長賞)…1点 賞状 賞金(2万円)
 - 入選……………5点 賞状 賞品
 - 佳作……………5点 賞状 賞品

応募上の注意 自作の未発表の作品に限ります。
 原発事故による制限区域等への立ち入り撮影は禁止です。
 森林整備作業等の撮影では、作業員の指示に従い安全に留意すること。
 応募点数に制限はありませんが、入賞は1人1賞とします。
 応募作品には、題名、撮影場所、撮影年月日、住所、氏名、電話番号、年齢、職業を記入した応募票(自作可)を添付して下さい。
 入選者はネガを提出していただきます。デジタルカメラの場合はデータをCDにおとしたもの。
 肖像権侵害等の責任は負いかねますので、事前に被写体から承諾を得た上でご応募下さい。
 入賞作品の著作権は主催者に帰属し、「林業福島」等の広報誌に使用させていただきます。
 原則として応募作品は返却いたしません。

送り先 問い合わせ先 〒960-8043 福島市中町5番18号 社団法人 福島県林業協会 管理課
 電話 024-521-3245 FAX 024-521-3246



- ◇「チェーンソーカービングの技」
 全国林業改良普及協会編 定価2,520円
 - ◇「林業再生の決め手! 生産性を向上させる80カ条」
 坪野克彦編著 定価1,995円
 - ◇「刈払機安全作業ガイドー基本と実践ー」
 石垣正喜 定価2,100円
 - ◇「続・林業GPS徹底活用術 応用編」
 全国林業改良普及協会編 定価2,100円
 - ◇「鋸谷式間伐 実践編なるほどQ&A 森林の健全度を高めよう」
 鋸谷 茂編著 定価1,575円
- 発行：社団法人全国林業改良普及協会

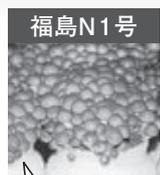
- ◆平成23年版 林道規程ー運用と解説ー 定価4,200円
- ◆平成23年版 林道必携技術編 定価4,200円

■発行：全国林道協会

お申込：社団法人福島県林業協会
 〒960-8043 福島市中町5-18
 TEL024-521-3245 FAX024-521-3246

きのこで地域を元気に (財)福島県きのこ振興センター

●菌床栽培用ナメコ(登録品種)

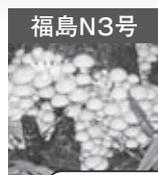


安定多取量

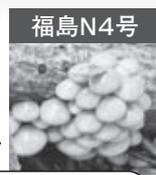


大型・滑り少

●原木栽培用ナメコ(登録品種)



コナラ原木で安定・多取量
 食物繊維、ペクチン様物質豊富



- その他各種種菌
- 菌床
 - ・シイタケ
 - ・ハタケシメジ
 - ・ムラサキシメジ等
- マイタケホダ木 ○栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926
 E-mail:f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL:http://www.f-kinoko.org



震災と日本人

七月末になると梅雨空は一転してガラガラした太陽の季節に変わる。早朝から部屋の中は蒸し暑く、例年は戸を開放したり、エアコンをフル稼働させてきたが、今年は放射線の心配もあり、窓を完全に閉ざし、エアコンは節電のため運転を止め、熱中症対策として水分をこまめに摂っている。しかし、水分補給だけでは熱中症が妨げるのか心許無く思っている。

ところで、三月の震災以降も大小の余震が続く、停電に備えて乾電池を購入しようとしたところ、電気店に在庫は無く、入荷の見通しも分からなかった。後日、不足の原因が首都圏などでの買い占めによるものとなり、東京で使われる電力の約四割弱が福島原発のものとも知らぬ都民の無関心さと、情報を正確に提供しない関係者に憤りを覚える。

電気は照明や炊飯、冷蔵冷凍、洗濯など生活全般に関わり、産業界にも欠かす事の出来ない重要な資源で、人間社会に電気の無いことなど想定も出来ない存在になっている。しかし、本県は日本最大の原発産出県で、今後数十年に及ぶとも言われる放射線と向き合う事から原発への意識が強まり、脱原発へ向け一直線に進むものと予想される。一方、節電による企業などへの影響は大きく、企業は出勤日の調整や自家発電、蓄電池の導入など対応に追われているが、海外依存度の高まり等から雇用不安が心配される。

原発は県や立地市町にとって貴重な税収源であり、住民の就労の場となっているが、原発基地から離れた地域では関心は低く、地元との認識には温度差がある。さらに、東電の電気が地産地消でない事が東電との距離を遠くさせているのではと考えている。

本県は浜・中・会津と広く、歴史、文化、生活圏も違うが、被災地の脱原発後の職・住造りなどに県民の英知で、被災地の豊かな生活圏の創造に協力しなければと考えている。今回の震災で被災地に対し隣人の様に接し、金品や労力の提供など、自発的に被災地を支える姿を見て日本人の本質を見た思いをしている。外国人が日本人は非常時にも冷静に行動する姿に驚くが、私は国民性に加え皆教育の成果と思っている。

佐藤微風

表紙の写真



ふきのカップ

第7回ふくしま森林・林業写真コンクールで特別賞となった佐藤宏行さん(福島市)の作品

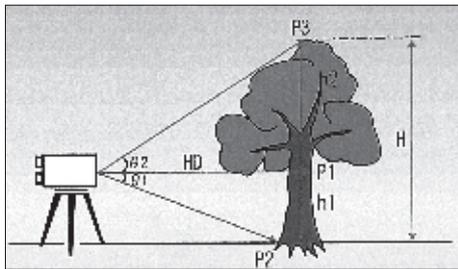
編集

福島県内四森林管理署
福島県林業協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県緑化推進委員会
福島県農林種苗農業協同組合
福島県農林業公社
森林総合研究所福島水源林整備事務所
福島県林業協会
福島市中町五番一八号県林業会館内
発行人 陽光社印刷株式会社
発行 渡辺卓
編集 佐藤微風

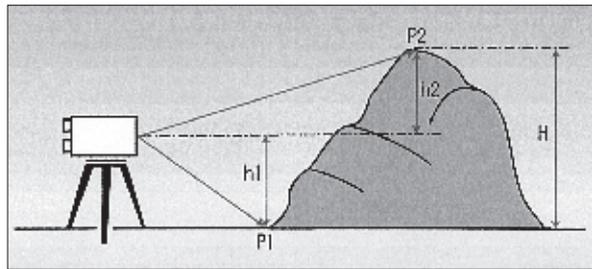
(定価 六三円)

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

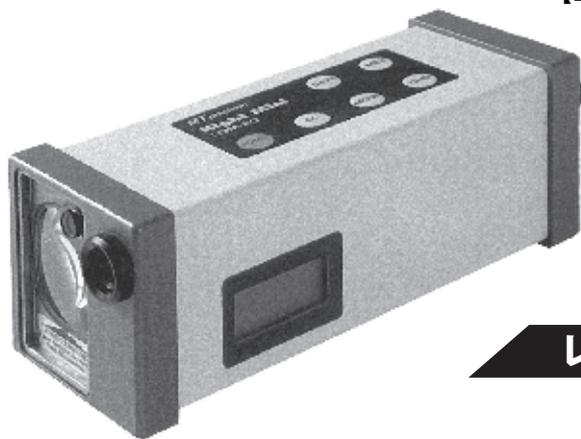


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

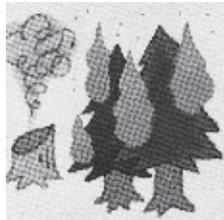
レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



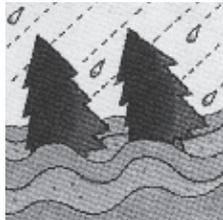
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



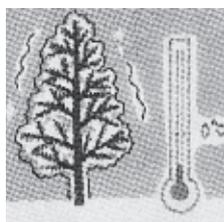
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 県内各森林組合
- ◆ 福島県森林組合連合会

又は 県庁森林整備課
TEL 024-521-7430

イワフジのプロセッサ

GP-45V グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追求したプロセッサ

- 高耐久性を追求したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor
MODEL : GP- 45V

イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県本宮市本宮万世11-7
TEL 0243-34-5440 FAX 0243-34-5442

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングャーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!

Yashima
豊かな緑を次代へ

自然との調和

私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

野生動物から大切な 植樹木を守る

ツリーセーブ
ヤシマレント

盗みされ防止

ハチノックL(網隠し)
ハチノックS(携帯用)

大切な日本の松を守る ヤシマの林業薬剤

ヤシマスマイバイン乳剤
ヤシマスマイバインMC
グリーンガードエイト
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートSC
マツグリーン液剤2

くん蒸用生分解性シート

ちゆらシート(茶・白)
NCSシート(透明)
与作シート(茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリアバック使用)



ヤシマ産業株式会社

本社 〒104-0045 東京都中央区築地1丁目9-6 アロア築地ビル2F
東北営業所 〒981-3133 仙台市泉区泉中央3-10-3-202

TEL.03-5565-3161(代) FAX.03-5565-3164
TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

排気量 **18.3cm³**

世界最小・最軽量、2.2kgの手のひらサイズ



G2000T

20cm(8インチ)・SP ¥66,675(税込)
20cm(8インチ)・CV ¥72,765(税込)

排気量 **40.1cm³**

さまざまな用途に対応、本格プロ仕様シリーズ



G4211EZ EZ+START

40cm(16インチ)・SP ¥135,660(税込)
45cm(18インチ)・SP ¥137,865(税込)
40cm(16インチ)・H ¥135,660(税込)
45cm(18インチ)・H ¥137,865(税込)

使いやすさを
追求したハンドルと
思いのアクセルワークが
可能なトリガーレバー。



BC2711DW1-EZ

・防振ハンドルブラケット
・トリガーレバータイプ
チップソー ¥79,380(税込)
笹刈刃 ¥78,330(税込)

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店
(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1